

杵築市教育委員会アクションプラン

目標及び指標

【目標】	
ア 児童・生徒の学力に関する目標(平成28年度) ・学力中・上位層の更なる学力の向上。 ・学力下位層の縮減。(中学校を中心に)	イ 学校等が抱える組織的・構造的課題に関する目標 ・教務主任が要となり研究主任と連携し、授業改善の5点セットの作成とPDCAサイクルを取り入れた組織的な授業改善を推進する。 ・学校司書を教員との連携による学校図書館を活用した授業を実施する。

達成指標	取組指標
【全国学力・学習状況調査】 ・「知識」の平均正答率が全国を超えた割合(67%) ・「活用」の平均正答率が全国を越えた割合(54%) ※「杵築市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と共通	・教職員全員で実際の全国調査を解き、指導の改善策を考える研修を年2回以上実施した学校100% ・活用型授業を小学校年5回、中学校年3回以上実施した教員100%
【大分県学力定着状況調査】 ・目標値を超えた児童生徒の割合(71%) ・県の中学校英語の偏差値52を超えた項目の割合(33%) ※「杵築市まち・ひと・しごとと総合戦略」と共通	・教職員全員で実際の県の調査を解き、指導の改善策を考える研修を年2回以上実施した学校100% ・CAN-DOリストを活用した英語科授業の実施した英語科教員100%
・県の調査において学力下位層(偏差値34以下)の割合(7%未満)	・各学校の算数科・数学科・英語科の習熟度別指導または習熟の程度に応じた指導の実施、授業時数の50%以上 ・中学校における補充学習指導(朝学習、放課後学習)、週2時間以上実施100%

し た 教 員 1 0 0 %	し た 教 員 1 0 0 %	直 り し キ 年 3 回 以 上 実 施 メ と し た 、 授 業 任 を 年 3 回 以 上 実 連 携	直 り し キ 教 員 3 回 以 上 実 施 メ と し た 、 各 学 校 の 徹 底 的 に 行 う の 見 か
--------------------------------------	--------------------------------------	--	--

行動計画

- ① 授業改善に関する行動計画
 - ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて
(管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む)
・授業改善計画、授業改善の5点セットを作成し、「新大分スタンダード」を意識した校内研究による授業改善と、管理職による授業観察と効果的なフィードバックを行う。
・大分県教育センターの出前研修や、学力向上支援教員等を活用した校内研修を推進する。
 - イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)
・可能な限り担任以外の教員を動員して算数、数学、英語の習熟度別指導を行う。
・中学校は、補充学習指導(朝学習、放課後学習)を週2時間以上実施する。
 - ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて
・各学校は、学校図書館の活用の視点から年間指導計画を見直し、学校図書館を活用した問題解決的な授業の充実を図る。
・各学校は、学校図書館を活用した授業公開を積極的に行い、管理職による授業観察のフィードバックを行う。
 - エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)
・中学校の教科部会(国語科、社会科、数学科、理科、英語科)は、年1回以上大分県教育センターの出前研修、または学力向上支援教員等を活用した研修会をもつ。
- ② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画
(幼保小の連携・小中連携を含む)
 - ・共に学び合う集団づくりを重視した学級経営を行う。
 - ・生徒自身が課題を捉え、主体的に取り組む生徒会活動を推進する。
 - ・「学びに向かう学校づくり中核校」の公開授業への参加を、市内中学校だけでなく小学校にも呼びかけ情報提供をする。
- ③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画
 - ア 放課後や土曜日の教育環境の充実
・社会教育課と学校教育課が連携して、放課後チャレンジ教室及び土曜教室において子どもの学びと家庭教育を支援する。
- ④ その他
 - ・学力向上に向けて学校と家庭・地域との協働による取組を決定し、学校経営の最重点及び杵築市学力向上プランに位置づけ推進していく。

|